

朝日大学歯学部教授 住友 伸一郎 先生

## 「建学の精神」

本学の建学の精神は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人的知性に富む人間を育成することにある。

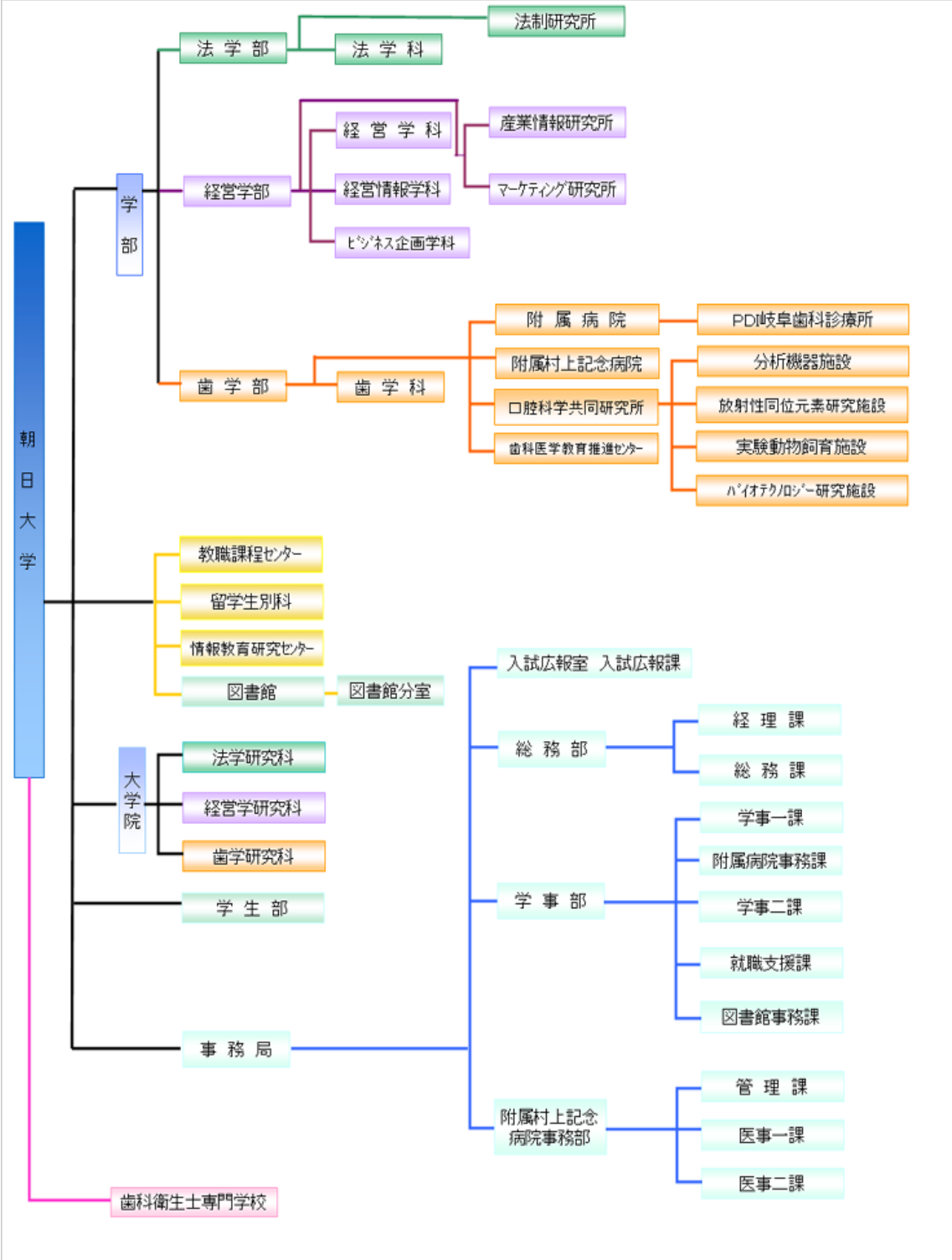
インタビュー NPO 法人 JASIPA 関西支部 杉本 浩

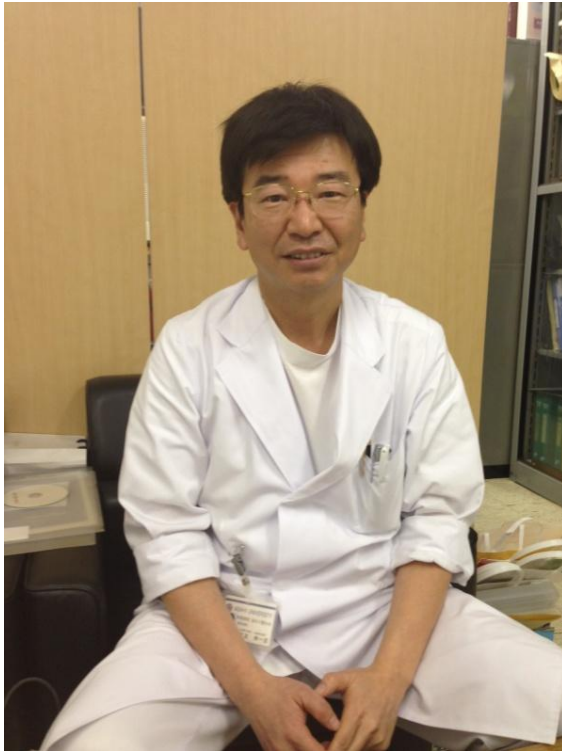


### 大学概要

法人名	学校法人 朝日大学
代表者	理事長 宮田 侑
設立	1971年2月27日
主たる所在地	〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積 1851
連絡先	代表 TEL 058-329-1111

専任教職員数	人数	学生数	人数
学長	1	法学部	492
法学部	21	経済学部	1,008
経済学部	43	歯学部	829
歯学部	181	法学研究科	13
その他	7	経済学研究科	10
事務職	142	歯学部研究科	87
医療職	387	留学生別科	56
技術・労務職	56	歯科衛生士専門学校	241
合計	838	合計	2,736





本日は、NPO 法人 JASIPA 関西支部  
 会員である株式会社エンカレッジ  
 が、発売している、医療系学校向け  
 WEB 学習支援システム（製品名：「CBT  
 —Medical」）をご導入されている、  
 岐阜県瑞穂市の学校法人朝日大学の  
 歯学部教授 住友伸一郎先生をお訪  
 ねし、語学試験（TOEFL, TOEIC な  
 ど）でも使われている CBT =  
 computer based testing のお取り組  
 みや同校の今後の構想などの話をお  
 聞かせいただきます。さらに CBT—  
 Medical の導入に至った経緯や、活  
 用の成果や、これからの取り組みや  
 考え方についてもお話をお伺いた  
 したいと思います。

インタビューには、株式会社エンカレッジの朝日大学様ご担当の北川さんにも  
 ご同席いただきます。

### ★学校法人 朝日大学 沿革



1971年 2月	学校法人岐阜歯科大学設立認可
1971年 4月	岐阜歯科大学を開設
1971年 5月	岐阜歯科大学附属病院を開設
1973年 4月	岐阜歯科大学附属歯科衛生士学校を開設
1985年 4月	経営学部経営学科を開設
1985年 4月	法人の名称を学校法人朝日大学に
1987年 4月	法学部法学科を開設
1991年 4月	経営学部情報管理学科開設
2001年 4月	留学生別科を開設
2014年 4月	保健医療学部看護学科開設

## ★今回導入のシステム CBT-Medical の概要



### CBT-Medical におまかせください!

CBT-Medicalは、医療系国家試験／共用試験対策として、問題作成から実施・結果集計・個別学習までを一貫してサポートします。

## 以下、インタビューレポート

### ★まずは、朝日大学様について教えてください。

[住友先生] 歯学を中心とした医療系の大学です、特色は「建学の精神」をモットーに教育を進めています、詳しくはホームページを御覧ください。

#### Mission AND GOAL 学部の目的

歯学部では、建学の精神にのっとり、基礎教育系と歯科医学の専門教育系で構成した6年一貫の系統教育により、高い倫理観と教養を身につけると共に専門知識及び専門技術を習得し、地域にとどまらずに国際社会にも通用する歯科医師の育成を目指しています。※朝日大学歯学部様記載のホームページから抜粋

### ★エンカレッジ社をお知りになった切掛について教えてください。

[住友先生] 2011年1月の医療系eラーニング全国交流会（於：産業医科大学）のエンカレッジ社の展示ブースで名刺交換をしたのが初対面でした。その時は教育機関向けの試験システムが有るんだなと思った程度です。

**★その後の経過は如何でしたか？**

〔住友先生〕 その後も、毎年開催される医療系 e ラーニング全国交流会に参加した折に展示ブース等で継続的に情報提供を貰ったりしていました。

**★なるほど、では導入までには割りと間隔が空いていたのですね、では導入の経緯を教えてください。**

〔住友先生〕 大学の歯学部や医学部では臨床実習前の共用試験で CBT（試験）＝ computer based testing を実施しているはご存知だとは思いますが、CBT に利用している教室をもっと有効的に学内の試験でも使えないのかなという話が学部内で持ち上がり、エンカレッジ社の CBT—Medical を思い出して、使えそうなシステムが有ると話をして、実際エンカレッジ社のシステムを事務部門や教務部門関係者にデモを見てもらった所、そのシステムで良いんじゃないのと、トントン拍子に決まりました。

**★CBT 教室の有効活用が導入の切掛ですね、それは何時くらいの時期でしたか？**

〔住友先生〕 2012 年秋頃に話が出てその年の 12 月位にデモをして導入が決まったかな。その後、去年の運用に先立ち、教職員に事前に使ってもらい 6 月から仮運用して、7 月に運用開始しました。

**★システムの選定ポイントがあれば教えてください。**

〔住友先生〕 こちらの条件というのが、学内のコンピュータ室にサーバーがあり基本的にクローズド（外部から切り離された）の環境で使いたい、かつ医科系の学校向けシステムで探したが、ネットを使った e ラーニングシステムは多かったが条件に合うシステムが CBT—Medical 以外に候補がなかったんです。

**★以外に見合うシステムが見当たらなかったのですね、では導入実績数という点は気にならなかったのでしょうか？**

〔住友先生〕 実際に他の歯学部系・医学部系の大学で使っている試験システムは、フルオーダーメイドで開発されているのが殆どなので、エンカレッジ社の導入実績がそんなに多くないのは当然とと思っていましたので実際気にはならなかったです。またフルオーダーメイドで開発する試験システムは、開発費はとて高く保守費用だけでも毎年 1 千万以上もするので、そんな高価な物は本校では買えません、それに比べてエンカレッジ社製の試験システムはパッケージなので、導入も含めてリーズナブルな費用だったため、予算がすんなり通ったといった所ですね。



確かに、フルオーダーメイドの試験システムに比べて何でも痒いところに手が届くかとは言えないですが、要望をバージョンUPとして対応してもらっているので、費用対効果では大変満足しています。

**★導入中や導入後にトラブル等はあったのでしょうか？**

〔住友先生〕大きなトラブルと言えば、導入中に学生を集めて3, 4回お試しをしてみましたんですが、その時は問題がなかったのですが、まあいけるやろと本番稼働したら、いきなり止まりかけたので、倒れそう（ご自身が）になった事がありました。

〔北川さん〕私も気が気じゃなかったです。

〔住友先生〕画像が大きすぎたのが原因でしたね、それでも動作が遅くなったけどサーバーダウンすること無く動きましたけどね。その後は大きなトラブルはなく、事務方が教科ごとにデータを分析したいとか細かい対応は有りましたが、現在は問題なく運用中です。

**★導入後の感想は如何でしょうか？**

〔住友先生〕現在は試験問題を修正する時に、一旦サーバーからデータを読み出すために、検索してファイルを開いて等、手順が多いので今後はページ飛ばし等、操作面の使い勝手の向上を期待しています。また今後は試験コンテンツの登録が増えてきているので過去の試験コンテンツの変更は同じ文言等の一括変換機能があれば良いなと思っています。

〔北川さん〕朝日大学様はユーザーの中でCBT—Medicalを一番使って頂いており、バグ出しも含めて大変お世話になっています。なのでCBT—Medicalの品向上に大変貢献して頂いております。

**★なるほど、各種不具合の改善も同校と二人三脚で実施され、ユーザーとパッケージ製品の向上に理想型の関係を築いていらっしゃる訳ですね。**

〔北川さん〕先生いつも、有難うございます。

**学生さんの評判はどうですか？**

〔住友先生〕毎年国が実施するCBTは年1回しかないので何度も受けれるのは学生にとっても慣れ親しむのに良いでしょうね。

但し、学生にとっては試験が増えることを喜ぶ事は無いですがね（笑）

**★さて今更の質問になりますが、保守メンテナンスも含めて、エンカレッジ社は大阪の会社ですよ、距離とかご不安は無かったですでしょうか？**

〔住友先生〕確かに、近いに越したことはないが、レスポンスよく対応してい

るので、不安はありません。細かい要望も含めて距離感なく対応してもらっている、今後も頼りにしています。

現在は責任者のわたし（住友先生）が一人で運用していますが、今後は教職員全員で使うように準備中です。試験問題の登録も各講座の担当にやってもらうつもりで準備を進めています。一方では教職員皆が一斉に使いはじめると障害が発生しないか心配もあります、エンカレッジ社の迅速なサポートを期待しています。

〔北川さん〕判りました、頑張ります。

#### ★朝日大学様の今後の IT 戦略を教えてください。

〔住友先生〕医科系は以外に IT には強くなくて、アナログな人が多いんです。現在講義の資料も含めて、学生に配るプリントは PDF 化して、活用し進めています。今後も段々と練習問題や宿題をシステムに載っけて行きたいと思います。但し電子化が進むとコピーを懸念する先生もいるので、色々問題はありますが、それは運用次第です。将来的には、各講座のパソコンからも、試験問題を登録したいと考えています、その時お願いしますね。

〔北川さん〕日頃は、わたしどもの製品の品質向上に大変ご協力を頂いているので、こちらこそよろしくお願ひします。

#### ★エンカレッジ社含めて ICT ベンダーへの要望があればお願いします。

〔住友先生〕やはりユーザーフレンドリーで使い勝手がいいシステムが良いですね。パッケージソフトでありながらも個々の要望に応じてくれる柔軟なパッケージソフトを望んでいます、実際には対応（エンカレッジ社に）して貰っていますが。今後も、ちょっとした事等、小回りの利く対応があれば助かります（笑）

歯学部・医学部等の医療系は得てして IT 系には弱い人が多いので、ICT ベンダーの話を鵜呑みにしてよく失敗しています。なので、何が出来て、何が出来ないのかを、しっかり説明してほしいです。また、メリットだけでなくその結果どの様な影響があるのか、デメリットも割愛せずに説明して欲しいと思います、よろしくお願ひします。



ユーザーと ICT ベンダーの理想的な関係を構築されている事がよく判りました。本日は、長時間にわたり、貴重なお時間を割いてご説明いただき誠にありがとうございました。インタビューは以上で終了します。

学校法人 朝日大学( <http://www.asahi-u.ac.jp/> )

＜地域の IT かかりつけ医を目指す:JASIPA 関西支部会員＞

株式会社エンカレッジ( <http://www.enc-jp.com/> )

- 住所 ■〒530-0001 大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル3階
- 事業概要 ■ソフトウェア開発・ネットワーキング
- システムコンサルティング
  - 情報技術者の育成および専門分野における派遣
  - CBT (Computer Based Testing) を利用したテスト配信、テスト会場運営
  - 職業紹介事業
  - IT教育支援

特定非営利活動法人 J A S I P A (日本サービスイノベーションパートナー協会) 関西支部  
<http://jasipa-kansai.com/>

※ 本記事は、2014年2月14日に実施したインタビューの内容をまとめたものです。

